

## 三原橋再整備 2 地下街は埋め立て。 地上部と地下倉庫の活用検討を

ニューズレターVol.97でお知らせしましたように、東京都による三原橋再整備の工事が始まるにあたって、銀座街づくり会議では、地下街および地下倉庫の有効活用について、東京都建設局および東京都第一建設事務所に6月半ばに要望書を提出いたしました。

三原橋再整備の内容とは、①太鼓状の橋を撤去し、晴海通りを平らにする。②地下街空間はコンクリートで埋める。③銀座駅⇄東銀座駅間の地下歩道の階段2本のうち1本をスロープにし、バリアフリー化を行う。というものです。

それに対して、銀座街づくり会議から提出した要望書の内容は、

- 1 生活道路として活用されている、晴海通りの横断機能を残してほしい。
  - 2 三原橋地下街の従来のイメージを一新したうえで、地下街を残し、観光案内所や待ち合わせ空間などの、街のにぎわい空間としてほしい。
  - 3 地下鉄日比谷線と地下歩道の間で地下倉庫として使われている空間（いわゆる「幻の地下道」）を、街の課題を解決するためのインフラとして活用してほしい。
- というものでした。



銀座側の要望を聞いて東京都建設局・東京都第一建設事務所は、詳しい図面を描いて工事計画を見直すための検討をしてくださいましたが、現行の法規に合うような天井高を確保することができず、横断機能および三原橋地下街の維持は困難であるという結論に至ったとのこと、丁寧にご説明くださいました。銀座としては誠に残念ではありますが、要望のうち、1と2は断念せざるを得なくなりました。

今後、地下倉庫の活用と、地上部の晴海通り地上のまるくふくらんだ部分の活用を、中央区にご協力をいただいで検討していきたいと考えています。

たとえば、

- ① 地上のまるくふくらんだ部分は、街のにぎわいに貢献する空間とする。たとえば、観光案内所を設けたり、BRT等の将来の公共交通のための駅+待合所空間とする、緑のポケットパークのような空間にする、その他。
- ② 地下倉庫部分は、街の課題を解決するためのインフラとして活用する。たとえば、駐輪場や災害備蓄倉庫、荷捌き場、ごみ置き場等。もちろん、地上部同様ににぎわいに貢献する案も考えられます。まずは、現状の使われ方、空間の実態を把握したうえで、アイデア出しをするところから検討を始められればと思います。



すでにご承知のとおり、現在、仮囲いも取れ、すでに三原橋の撤去および地下街の埋め立て工事は始まっています。銀座街づくり会議は、地上と地下倉庫の空間活用の可能性について、銀座の希望を行政に伝えていきます。

ニューズレター Vol.97は下記からご覧いただけます  
<http://www.ginza-machidukuri.jp/>  
Vol.97「三原橋再整備 動き出す 東京都に対し地下空間の有効活用を要望」